学校番号	414

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説日本史』（山川出版社）						
副教材等	『詳説日本史授業用整理ノート』（山川出版社）図説日本史通覧　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ワーク・問題集の予習をおこないましょう。
・歴史に関して様々な視点（異なる立場からの考え方等）を持てるように、また自分の言葉で授業の内容をまとめられるようにしましょう。
・諸課題からうまれた歴史的背景を理解し、歴史が今に影響を与えていることを理解しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される歴史に対する視点から、相互に依存する世界で、互いを尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される歴史に対する視点から、相互に依存する世界で、互いを尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	日本文化のあけぼの	1 文化の始まり 2 農耕社会の成立 3 古墳文化の展開 4 飛鳥の朝廷	a. 旧石器文化・縄文文化・弥生文化古墳文化の社会に与えた影響を理解し、出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。他国との関係に着目して、小国の形成過程や文化の特色を理解している。 b. 小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、文献資料にもとづき、多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 c. 旧石器文化や縄文文化、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 ワークノート の記述内容

一学期	律令国家の形成	1　律令国家への道 2　平城京の時代 3　律令国家の文化 4　律令国家の変容	a.律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 b.文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 c.東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 ワークノートの記述内容
	貴族政治の展開	1　摂関政治 2　国風文化 3　地方政治の展開と武士	a.　藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 b.　奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。文献資料を活用して、地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。 c.　唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 ワークノートの記述内容
	院政と武士の躍進	1　院政の始まり 2　院政と平氏政権	a.貴族政治や土地制度の変容などを調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。平氏政権の台頭とその背景などについて、武士の政治進出について理解している。 b.武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 c.　中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 ワークノートの記述内容
一学期	武家政権の成立	1　鎌倉幕府の成立 2　武士の社会 3　モンゴル襲来と幕府の衰退 4　鎌倉文化	a.　諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程や国内政治への影響などについて、理解している。 b.　幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、社会の多様性を	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 ワークノートの記述内容

二学期	武家政権の成立	5　室町幕府の成立 6　幕府の衰退と庶民の台頭 7　室町文化 8　戦国大名の登場	表現している。 c. 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。			
	近世の幕開け	1　織豊政権 2　桃山文化 3　幕藩体制の成立 4　幕藩社会の構造 5　幕政の安定 6　経済の発展 7　元禄文化	a.　織豊政権との類似と相違などを、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。幕藩体制下の支配体制などに関する諸資料から適切に情報を読み取り、社会の構造を理解している。 b.　織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 ワークノート の記述内容
	幕藩体制の動揺	1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	a.　幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。政治・経済と文化の関係などに着目して、庶民文化の形成について理解している。 b. 幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 c.　幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。政治・経済と文化の関係に着目して、宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 ワークノート の記述内容

二学期	近世から近代へ	1　開国と幕末の動乱 2　幕府の滅亡と新政府の発足	a. 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 b.　日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 ワークノートの記述内容
三学期	近代国家の成立	1　明治維新と富国強兵 2　立憲国家の成立 3　日清・日露戦争と国際関係 4　第一次世界大戦と日本 5　ワシントン体制 6　近代産業の発展 7　近代文化の発達 8　市民生活の変容と大衆文化	a. 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。第一次世界大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 b. 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	発問評価 小テスト	発問評価 提出課題 ペアワーク	授業態度 発問評価 ワークノートの記述内容

三学期	恐慌と第二次世界大戦	1　恐慌の時代 2　軍部の台頭 3　第二次世界大戦 4　占領と改革 5　冷戦の開始と講和	a.　国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 b. 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	発問評価 小テスト	発問評価 提出課題 ペアワーク	授業態度 発問評価 ワークノートの記述内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度